

令和 5 年度
第 1 回 鶴見区民アンケート
報告書

大阪市鶴見区役所

目次

アンケート概要	1
ご回答いただいた方の基本事項について	2
調査結果の見方	5
1. 鶴見区の魅力などについて	7
問 1 鶴見区では、区の歴史や魅力の発見・発信や賑わいの創出を図るため、幅広い世代のみなさまに区への愛着を深めていただく事業に取り組んでいます。あなたは、次の「イベント・事業の例」に掲げる取組み全般について、魅力ある取組みだと感じますか。	7
問 2 鶴見区ではSDG s の周知・広報に取り組んでいます。家庭でできる身近なSDG s もありますが、あなたは、日頃から意識してSDG s に取り組んでいますか。	8
問 3 (問 2 で「2 意識して取組んでいない」と回答された方へ) SDG s に意識して取組んでいない理由は、何ですか。	9
問 4 「2025年日本国際博覧会(以下「大阪・関西万博」という。)」が、大阪市の夢洲で令和7年4月13日～10月13日まで開催されます。あなたは、「大阪・関西万博」に関心がありますか。	10
問 5 (問 4 で「2 関心がない」と回答された方へ) 「大阪・関西万博」に関心がない理由は何ですか。	11
問 6 あなたは、鶴見区が花や緑あふれるまちと感じますか。	12
2. 地域福祉の推進について	14
問 7 鶴見区では、「気にかける・つながる・支え合う地域づくり」を進めています。あなたは、災害時に限らず日常生活の中で「お元気ですか?」や「何かお困りですか?」など、住民同士の「声かけ」「見守り」「支え合い」が行われていると感じますか。	14
問 8 あなたは、現在ボランティア活動をしていますか。または、ボランティア活動してみたいと思っていますか。	16
問 9 鶴見区では、地域での支え合い、助け合いの意識づくりと活動への参加促進に向けて、公的な福祉サービスでは対象外とされている、外出時の付き添いなど日常生活のちょっとした困り事を地域住民同士の支え合いで補う、有償ボランティア制度「まちの支えあい活動」(通称:『あいまち』)を実施しています。あなたは、『あいまち』を知っていますか。	17

- 問 10 鶴見区には、地域の身近な相談窓口として専門機関などと連携し、さまざまな生活課題を抱えた人を支援につなげていく「地域福祉コーディネーター」（通称:『つなげ隊』）が各地域（小学校区ごと）にいます。あなたは、『つなげ隊』を知っていますか。また、こうした課題に直面した時に『つなげ隊』に相談しようと思いますか。…………… 18
- 問 11 鶴見区では、認知症の方をはじめ高齢者及び障がいのある方とその家族をサポートするため、相談支援体制の充実を図るとともに、認知症に対する正しい理解の普及啓発等に取り組み、「だれでも・いつでも・なんでも言える相談支援体制づくり」を進めています。あなたは、地域で支援を必要としている人に必要な支援が行き届く地域社会になっていると感じますか。…………… 19
- 問 12 鶴見区では、障がい者への理解を深めるため、障がい者スポーツの普及啓発に取り組んでいます。あなたは、障がい者スポーツについて関心や経験がありますか。…………… 20

3. 子育てについて…………… 21

- 問 13 あなたは、鶴見区は子育てしやすいまちだと感じていますか。…………… 21
- 問 14 あなたの世帯に現在、中学生以下のお子さまはいますか。…………… 23
- 問 15 （問 14 で「1 いる」と回答された方へ） あなたは、区役所、子育て支援センター、子ども・子育てプラザ、幼稚園、保育所などで子育て相談ができることを知っていますか。.. 25
- 問 16 （問 14 で「1 いる」と回答された方へ） あなたは、子育てに関する必要な情報を入手できていると感じていますか。…………… 26
- 問 17 （問 14 で「1 いる」と回答された方へ） 鶴見区では、区広報紙「広報つるみ」や SNS（フェイスブック、X（旧ツイッター））を活用し、子育てに関するさまざまな情報発信を行っています。あなたが、子育てに関する情報の中で充実してほしいと思うものは何ですか。…………… 27

4. まなびを通じたつながりづくりについて…………… 29

- 問 18 鶴見区では、「人権啓発推進セミナー」「ヒューマンシアター」「校下別人権学習会」「人権啓発イベント」「人材育成講座」「街頭啓発」などの人権教育・啓発の取り組みを行っています。あなたはこれらの取り組みに参加したり、地域で人権学習の開催や啓発活動に関わったことがありますか。…………… 29
- 問 19 あなたは、鶴見区で実施している取り組みを通して、「一人ひとりが互いに認め合い、受け容れ、ともに生きる」人権尊重のまちづくりが進んでいると感じますか。…………… 30
- 問 20 （問 19 で「3 どちらかといえば感じない」「4 感じない」と回答された方へ） 人権尊重のまちづくりが進んでいると感じない理由は何ですか。…………… 32

問 21	鶴見区では、「生涯学習ルーム」「生涯学習ルームフェスティバル」「生涯学習セミナー」「おもてなし茶会」「生涯学習一日体験 学び舎つるみ」「家庭教育支援講座」「はぐみネット」などの生涯学習の取り組みを行っています。あなたは、これらの取り組みや、地域における子どもの健全育成のボランティアなどに参加したことがありますか。……………	33
問 22	あなたは、生涯学習の取り組みや地域ボランティア活動などによるまなびを通して、人との関わりやつながりができると感じますか。……………	34
問 23	（問 22 で「3 どちらかといえば感じない」「4 感じない」と回答された方へ）まなびを通して人との関わりやつながりができると感じない理由は何ですか。……………	36
5.	鶴見区全般について……………	37
問 24	今後、だれもが安心して暮らせるまちづくりを進めるにあたり、取り組んだらよいと思うアイデア等がありましたら、ご記入ください。……………	37
調査票	……………	39

アンケート概要

(1) 第1回区民アンケートの目的

区民の皆さまの多様なニーズを把握するとともに、区の施策や事業など、今後の区政運営の参考資料として活用することを目的として実施しました。

(2) 区民アンケートの実施状況

実施期間：令和5年12月1日（金）～12月14日（木）

実施方法：調査票を郵送し、同封の返信用封筒による回答又はインターネットによる回答により実施

対象者：無作為抽出した18歳以上の鶴見区民1,000名

回答者数：572名

宛先不明返戻分：11件

回答率：57.8%

(3) 報告書に関する留意点について

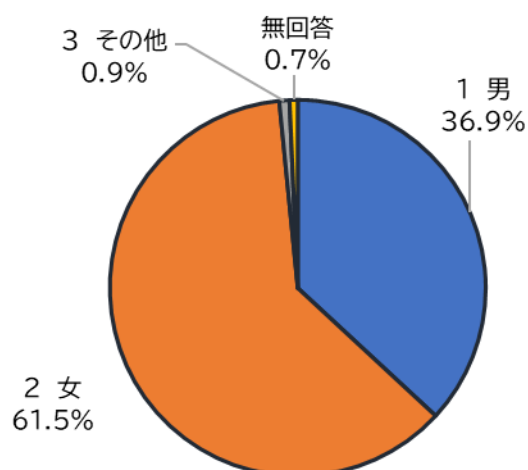
回答構成比（％）は、設問ごとの回答者数を100％として、各実数をもとに算出した数値の小数第2位を四捨五入しています。そのため、構成比の合計が100％と一致しない場合があります。

ご回答いただいた方の基本事項について

【性別】

男	211 名	36.9%
女	352 名	61.5%
その他・回答したくない	5 名	0.9%

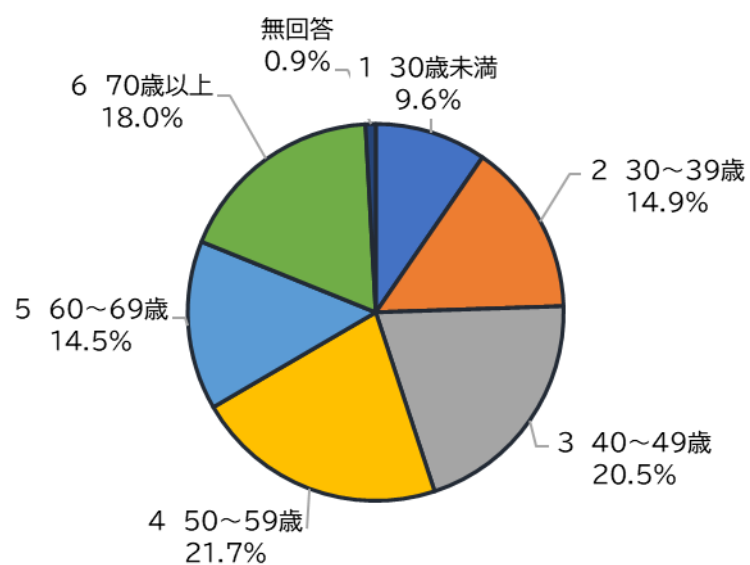
無回答	4 名	0.7%
合計	572 名	100%



【年齢】

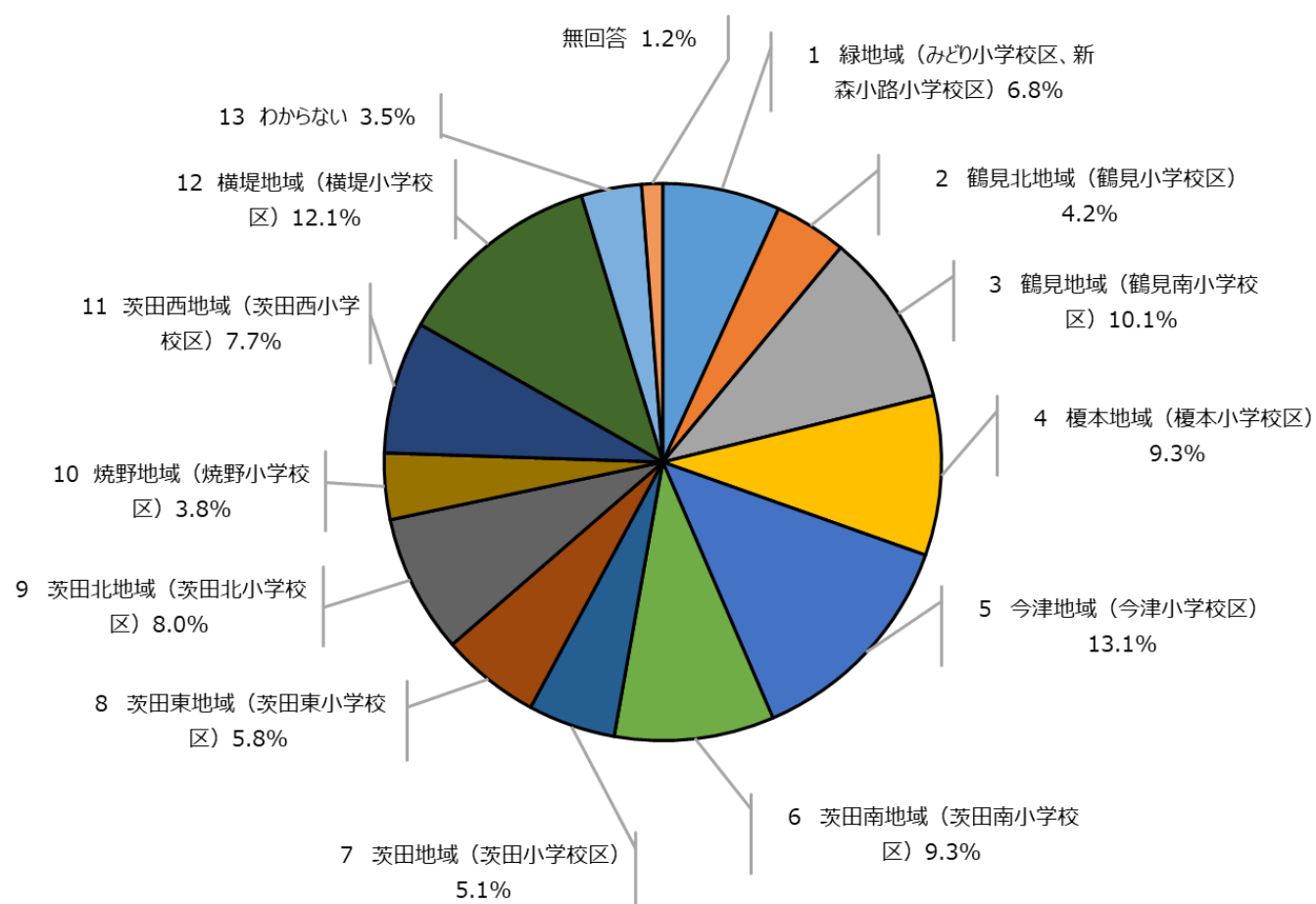
30 歳未満	55 名	9.6%
30～39 歳	85 名	14.9%
40～49 歳	117 名	20.5%
50～59 歳	124 名	21.7%

60～69 歳	83 名	14.5%
70 歳以上	103 名	18.0%
無回答	5 名	0.9%
合計	572 名	100%



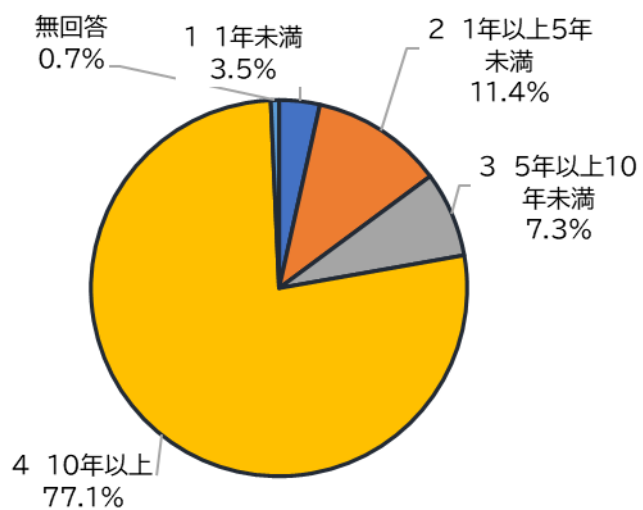
【地域】

緑地域（みどり小学校区、新森小路小学校区）	39 名	6.8%
鶴見北地域（鶴見小学校区）	24 名	4.2%
鶴見地域（鶴見南小学校区）	58 名	10.1%
榎本地域（榎本小学校区）	53 名	9.3%
今津地域（今津小学校区）	75 名	13.1%
茨田南地域（茨田南小学校区）	53 名	9.3%
茨田地域（茨田小学校区）	29 名	5.1%
茨田東地域（茨田東小学校区）	33 名	5.8%
茨田北地域（茨田北小学校区）	46 名	8.0%
焼野地域（焼野小学校区）	22 名	3.8%
茨田西地域（茨田西小学校区）	44 名	7.7%
横堤地域（横堤小学校区）	69 名	12.1%
分からない	20 名	3.5%
無回答	7 名	1.2%
合計	572 名	100%



【居住年数】

1 年未満	20 名	3.5%
1 年以上 5 年未満	65 名	11.4%
5 年以上 10 年未満	42 名	7.3%
10 年以上	441 名	77.1%
無回答	4 名	0.7%
合計	572 名	100%



調査結果の見方

- ・回答結果の割合「%」は、小数点以下第 2 位を四捨五入したものです。このため、単数回答（複数の選択肢から 1 つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が 100%にならない場合があります。
- ・複数回答（複数の選択肢から 2 つ以上の選択肢を選ぶ形式）の場合、回答は選択肢の有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100%を超える場合があります。
- ・図表中の「無回答」とは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- ・割合に関する記述で「割」は 10%を指します（例：3 割=30%）

■ 標本誤差について

標本調査とは、標本による測定値（調査の結果）に基づいて、母集団値を推定するものです。

今回の調査は標本調査として実施しています。しかし、今回の調査結果は母集団値を推定するために必要な標本の代表性の検証が十分に行えていないため、標本誤差以外に大きな非標本誤差が発生している可能性が高く、本調査の結果を母比率の推定値として用いる場合にはこの点に留意する必要があります。

理論的に求められる信頼度 95%で推定した場合の信頼区間 1/2 幅（標本誤差）は、次の式で算出されます。

$$\text{標本誤差} = 1.96 \times \sqrt{\frac{P \times (1-P)}{n}}$$

■ 性別・年代別 回答比率ごとの標本誤差

	回答比率(P) 回答者数 (n)	5%	10%	15%	20%	25%	30%	35%	40%	45%	50%
		95%	90%	85%	80%	75%	70%	65%	60%	55%	50%
全体	572	1.8%	2.5%	2.9%	3.3%	3.5%	3.8%	3.9%	4.0%	4.1%	4.1%
男性	211	2.9%	4.0%	4.8%	5.4%	5.8%	6.2%	6.4%	6.6%	6.7%	6.7%
女性	352	2.3%	3.1%	3.7%	4.2%	4.5%	4.8%	5.0%	5.1%	5.2%	5.2%
その他	5	19.1%	26.3%	31.3%	35.1%	38.0%	40.2%	41.8%	42.9%	43.6%	43.8%
無回答	4	21.4%	29.4%	35.0%	39.2%	42.4%	44.9%	46.7%	48.0%	48.8%	49.0%
30歳未満	55	5.8%	7.9%	9.4%	10.6%	11.4%	12.1%	12.6%	12.9%	13.1%	13.2%
30～39歳	85	4.6%	6.4%	7.6%	8.5%	9.2%	9.7%	10.1%	10.4%	10.6%	10.6%
40～49歳	117	3.9%	5.4%	6.5%	7.2%	7.8%	8.3%	8.6%	8.9%	9.0%	9.1%
50～59歳	124	3.8%	5.3%	6.3%	7.0%	7.6%	8.1%	8.4%	8.6%	8.8%	8.8%
60～69歳	83	4.7%	6.5%	7.7%	8.6%	9.3%	9.9%	10.3%	10.5%	10.7%	10.8%
70歳以上	103	4.2%	5.8%	6.9%	7.7%	8.4%	8.9%	9.2%	9.5%	9.6%	9.7%

例えば問 6 の「あなたは、鶴見区が花や緑あふれるまちと感じますか」の結果を見ると、肯定的な意見（「感じる」+「どちらかといえば感じる」）は男性で 78.2%で、ここから導き出される標本誤差の数値は、表にある最も近い値（80%）の「男性」の標本誤差の数値 5.4%です。

つまり母集団を対象にこの調査を行ったところ、「肯定的な意見」の男性が 78.2%の前後 5.4%の区間内、すなわち 72.8-83.6%の区間内にあることが 95%の確率で期待されるということを意味しています。

■母集団の大きさ（N）（令和5年9月末時点の住民基本台帳人口）

（単位：人）	30代以下	40～50代	60代以上	合計
男性	12840	16509	10330	39679
女性	13801	17120	12160	43081

■有効回答数（n）

（単位：人）	30代以下	40～50代	60代以上	合計
男性	55	83	73	211
女性	83	157	112	352

■有効回答者数の母集団の大きさに対する割合（n/N）

（単位：%）	30代以下	40～50代	60代以上	合計
男性	0.43	0.50	0.71	0.53
女性	0.60	0.92	0.92	0.82

1. 鶴見区の魅力などについて

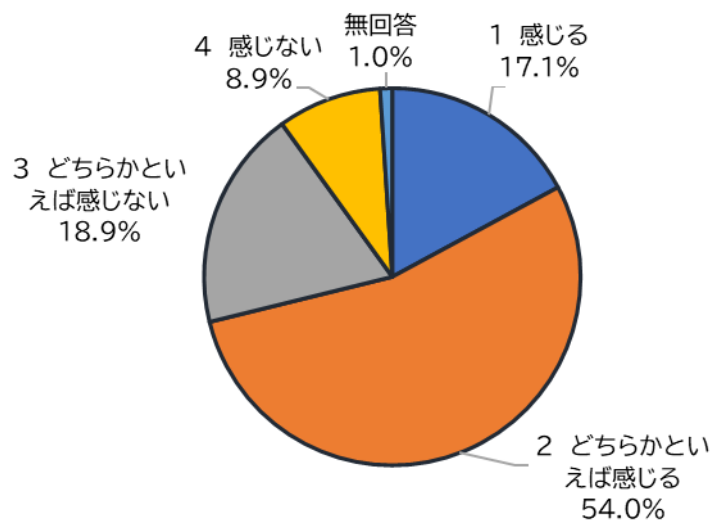
問1 鶴見区では、区の歴史や魅力の発見・発信や賑わいの創出を図るため、幅広い世代のみなさまに区への愛着を深めていただく事業に取り組んでいます。あなたは、次の「イベント・事業の例」に掲げる取組み全般について、魅力ある取組みだと感じますか。（1つ選んでください）

【イベント・事業の例】

・「つる魅力検定」

・鶴見区マスコットキャラクター「つるりっぷ」による広報（LINE スタンプ販売・着ぐるみ出演 など）

選択肢	件数	割合
1 感じる	98	17.1%
2 どちらかといえば感じる	309	54.0%
3 どちらかといえば感じない	108	18.9%
4 感じない	51	8.9%
無回答	6	1.0%
合計	572	100%



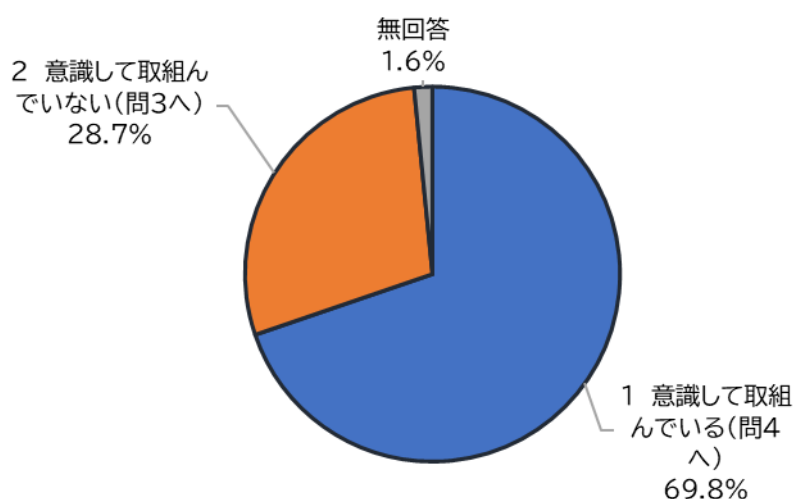
【全体的傾向】 「感じる」（17.1%）、「どちらかといえば感じる」（54.0%）を合わせると 71.1%の方が魅力ある取組みであると感じている。

【年齢別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を年齢別にみると、「50歳代」が最も多く、78.2%となっている。

【居住年数別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を居住年数別にみると、「1年以上5年未満」が最も多く、80.0%となっている。

問2 鶴見区では SDG s の周知・広報に取り組んでいます。家庭でできる身近な SDG s もありますが、あなたは、日頃から意識して SDG s に取り組んでいますか。
(1 つ選んでください)

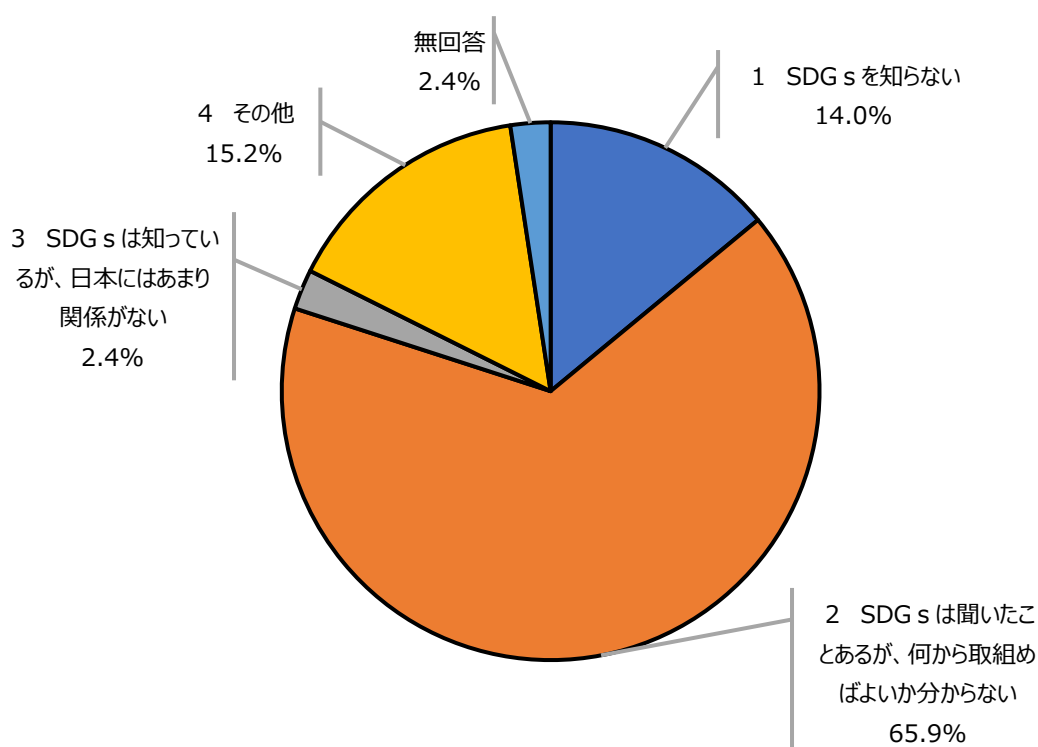
選択肢	件数	割合
1 意識して取り組んでいる (⇒問4へ)	399	69.8%
2 意識して取り組んでいない (⇒問3へ)	164	28.7%
無回答	9	1.6%
合計	572	100%



- 【全体的傾向】 「意識して取り組んでいる」(69.8%)と、約7割の方が日頃から意識してSDG sに取り組んでいる。
- 【年齢別傾向】 「意識して取り組んでいる」と回答した割合を年齢別にみると、「60歳代」が最も多く、81.9%となっている。
- 【居住年数別傾向】 「意識して取り組んでいる」と回答した割合を居住年数別にみると、「10年以上」が最も多く、72.1%となっている。
- 【地域別傾向】 「意識して取り組んでいる」と回答した割合を地域別にみると、「緑地域」と「茨田西地域」がともに最も多く、79.5%となっている。

問3 (問2 で「2 意識して取り組んでいない」と回答された方へ)
SDG s に意識して取り組んでいない理由は、なぜですか。(1つ選んでください)

選択肢	件数	割合
1 SDG s を知らない	23	14.0%
2 SDG s は聞いたことあるが、何から取組めばよいか分からない	108	65.9%
3 SDG s は知っているが、日本にはあまり関係がない	4	2.4%
4 その他	25	15.2%
無回答	4	2.4%
合計	164	100%



【全体的傾向】 「SDG s は聞いたことあるが、何から取組めばよいか分からない」と回答した割合が最も多く、65.9%となっている。

【年齢別傾向】 「SDGs を知らない」と回答した割合を年齢別に見ると、「70 歳以上」が最も多く、36.0%となっている。その他の年代では「SDG s は聞いたことあるが、何から取組めばよいか分からない」が最も多い。

【居住年数別傾向】 全ての居住年数で「SDG s は聞いたことあるが、何から取組めばよいか分からない」が最も多い。

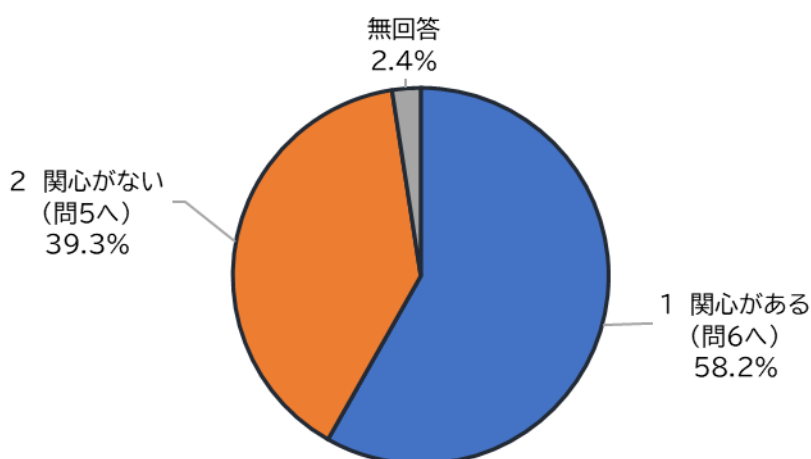
「その他」と回答された方のご意見（抜粋）

- ・面倒
- ・SDG s に関係なく普段から取り組んでいる。
- ・積極的には行わない。

問4 「2025 年日本国際博覧会（以下「大阪・関西万博」という。）」が、大阪市の夢洲で令和7年4月13日～10月13日まで開催されます。

あなたは、「大阪・関西万博」に関心がありますか。（1つ選んでください）

選択肢	件数	割合
1 関心がある（⇒問6へ）	333	58.2%
2 関心がない（⇒問5へ）	225	39.3%
無回答	14	2.4%
合計	572	100%



【全体的傾向】 「関心がある」（58.2%）と、約 6 割の方が「大阪・関西万博」に関心がある。

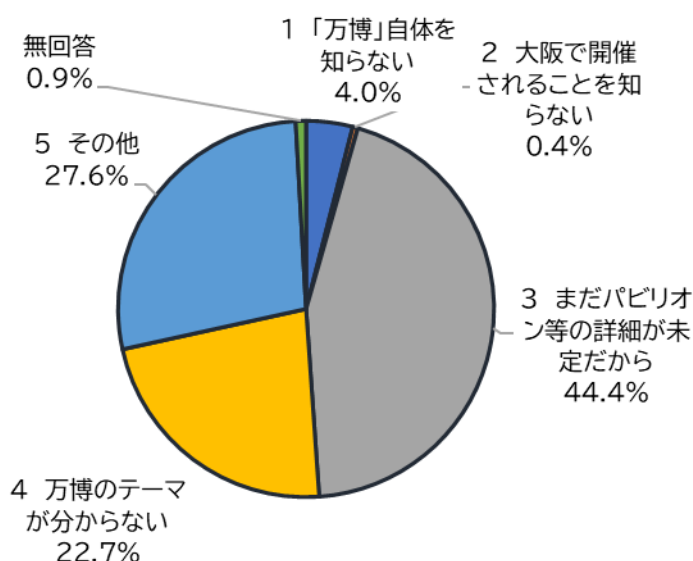
【年齢別傾向】 「関心がある」と回答した割合を年齢別にみると、「40 歳代」が最も多く、65.0%となっている。

【居住年数別傾向】 「関心がある」と回答した割合を居住年数別にみると、「5 年以上 10 年未満」が最も多く、66.7%となっている。

【地域別傾向】 「関心がある」と回答した割合を地域別にみると、「焼野地域」が最も多く、77.3%となっている。

問5 (問4で「2 関心がない」と回答された方へ)
「大阪・関西万博」に関心がない理由はなんですか。(1つ選んでください)

選択肢	件数	割合
1 「万博」自体を知らない	9	4.0%
2 大阪で開催されることを知らない	1	0.4%
3 まだパビリオン等の詳細が未定だから	100	44.4%
4 万博のテーマが分からない	51	22.7%
5 その他	62	27.6%
無回答	2	0.9%
合計	225	100%



【全体的傾向】 「まだパビリオン等の詳細が未定だから」と回答した割合が最も多く、44.4%となっている。

【年齢別傾向】 すべての年代で「万博のテーマが分からない」又は「まだパビリオン等の詳細が未定だから」と回答した割合が多い。

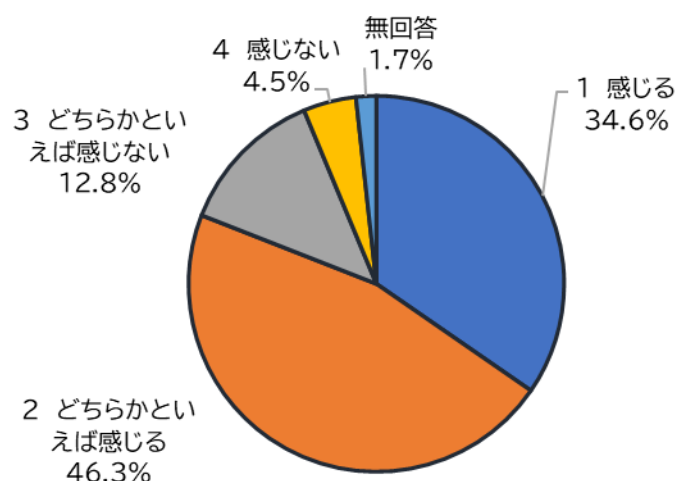
【居住年数別傾向】 いずれも「まだパビリオン等の詳細が未定だから」と回答した割合が多い。

「その他」と回答された方のご意見（抜粋）

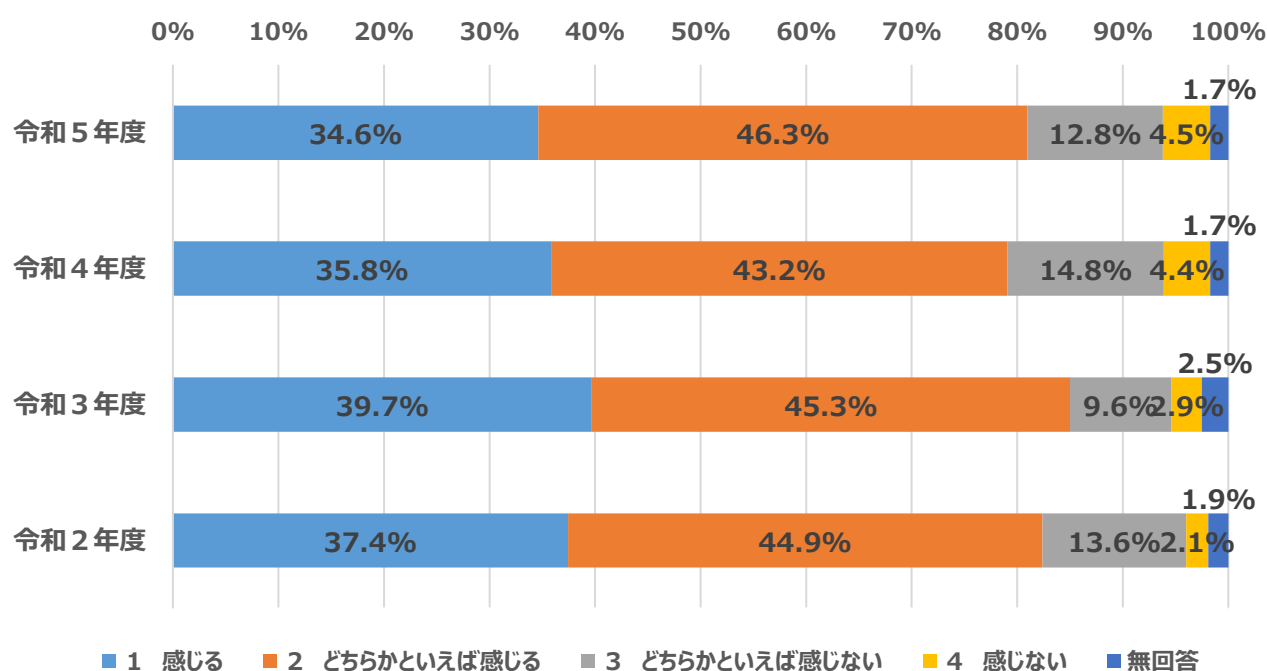
- ・興味がない
- ・（万博に限らず）行事に興味がない
- ・昔の価値観によるもので、今の時代に意義を感じない
- ・魅力を感じない
- ・楽しくなさそう。混んでそう

問6 あなたは、鶴見区が花や緑あふれるまちと感じますか。（1つ選んでください）

選択肢	件数	割合
1 感じる	198	34.6%
2 どちらかといえば感じる	265	46.3%
3 どちらかといえば感じない	73	12.8%
4 感じない	26	4.5%
無回答	10	1.7%
合計	572	100%



【前回等調査との比較】

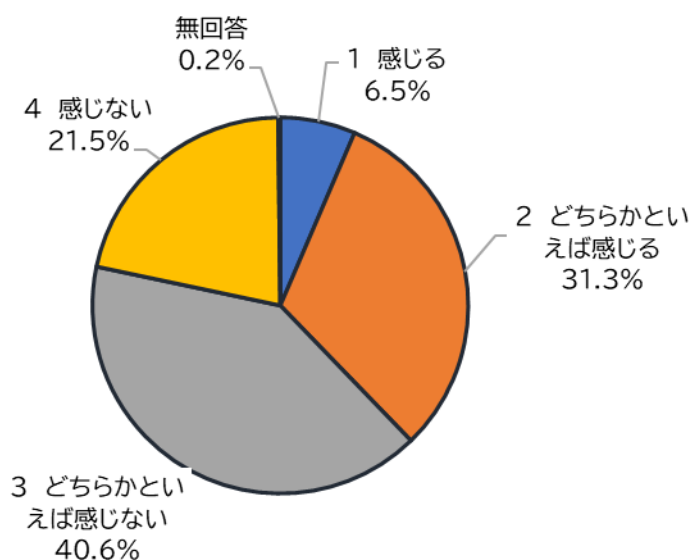


- 【全体的傾向】 「感じる」(34.6%)、「どちらかといえば感じる」(46.3%)を合わせると80.9%の方が花や緑あふれるまちであると感じている。
- 【年齢別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を年齢別にみると、「30歳未満」が最も多く、87.3%となっている。最も少ないのは「60歳代」で73.5%となっている。
- 【居住年数別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を居住年数別にみると、「1年以上5年未満」が最も多く、95.4%となっている。最も少ないのは「1年未満」で70.0%となっている。
- 【地域別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を地域別にみると、「焼野地域」が最も多く、95.5%となっている。

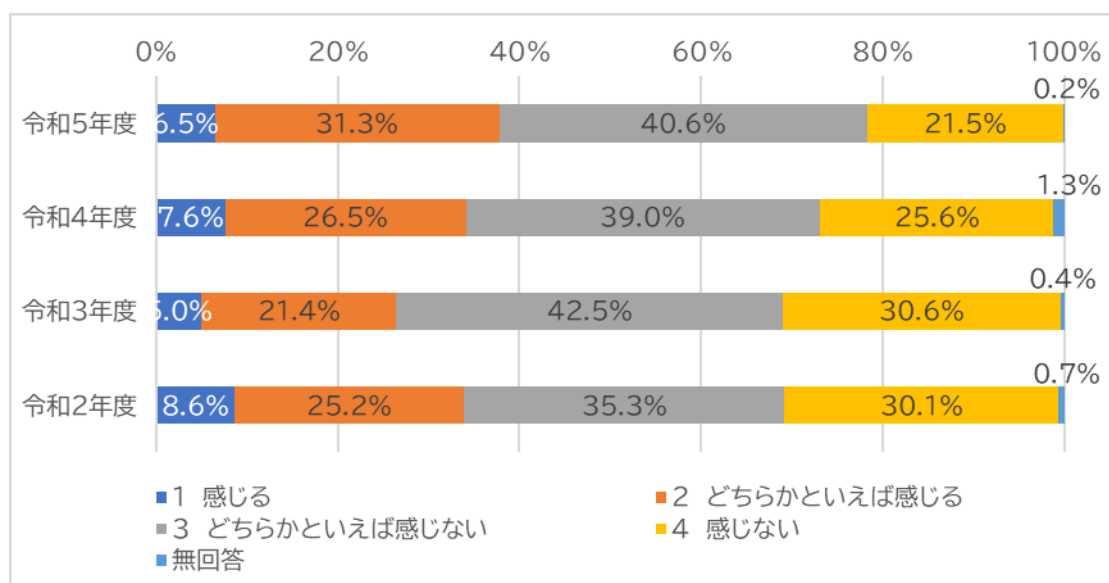
2. 地域福祉の推進について

問7 鶴見区では、「気にかける・つながる・支え合う地域づくり」を進めています。あなたは、災害時に限らず日常生活の中で「お元気ですか？」や「何かお困りですか？」など、住民同士の「声かけ」「見守り」「支え合い」が行われていると感じますか。（1つ選んでください）

選択肢	件数	割合
1 感じる	37	6.5%
2 どちらかといえば感じる	179	31.3%
3 どちらかといえば感じない	232	40.6%
4 感じない	123	21.5%
無回答	1	0.2%
合計	572	100%



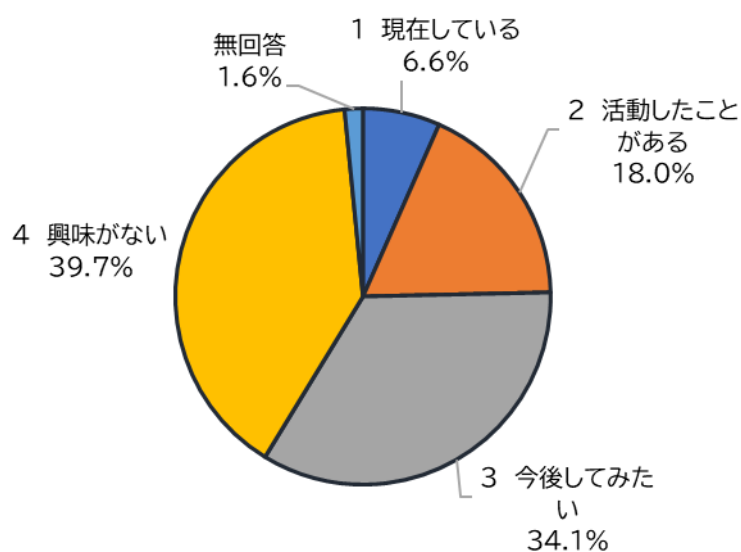
【前回等調査との比較】



- 【全体的傾向】 「感じる」(6.5%)、「どちらかといえば感じる」(31.3%)を合わせると37.8%の方が住民同士の「声かけ」「見守り」「支え合い」が行われていると感じている。
- 【年齢別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を年齢別にみると、「70歳以上」が最も多く、42.7%となっている。
- 【居住年数別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を居住年数別にみると、「10年以上」が最も多く、40.4%となっている。
- 【地域別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を地域別にみると、「茨田東地域」が最も多く、54.5%となっている。

問 8 あなたは、現在ボランティア活動をしていますか。または、ボランティア活動をしてみたいと思っていますか。（1つ選んでください）

選択肢	件数	割合
1 現在している	38	6.6%
2 活動したことがある	103	18.0%
3 今後してみたい	195	34.1%
4 興味がない	227	39.7%
無回答	9	1.6%
合計	572	100.0%



【全体的傾向】 「現在している」（6.6%）、「活動したことがある」（18.0%）を合わせると 24.6%の方がボランティア活動の経験がある。

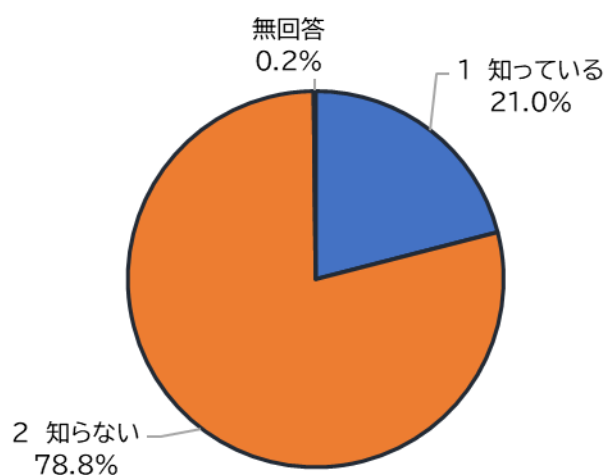
【年齢別傾向】 「現在している」又は「活動したことがある」と回答した割合を年齢別にみると、「70歳以上」が最も多く、32.0%となっている。

【居住年数別傾向】 「現在している」又は「活動したことがある」と回答した割合を居住年数別にみると、「5年以上10年未満」が最も多く、31.0%となっている。

【地域別傾向】 「現在している」又は「活動したことがある」と回答した割合を地域別にみると、「焼野地域」が最も多く、36.4%となっている。

問 9 鶴見区では、地域での支え合い、助け合いの意識づくりと活動への参加促進に向けて、公的な福祉サービスでは対象外とされている、外出時の付き添いなど日常生活のちょっとした困り事を地域住民同士の支え合いで補う、有償ボランティア制度「まちの支えあい活動」(通称:『あいまち』)を実施しています。
あなたは、『あいまち』を知っていますか。(1つ選んでください)

選択肢	件数	割合
1 知っている	120	21.0%
2 知らない	451	78.8%
無回答	1	0.2%
合計	572	100%



【全体的傾向】 「知らない」と回答した割合は、78.8%となっており、約 8 割の方が「あいまち」を知らない。

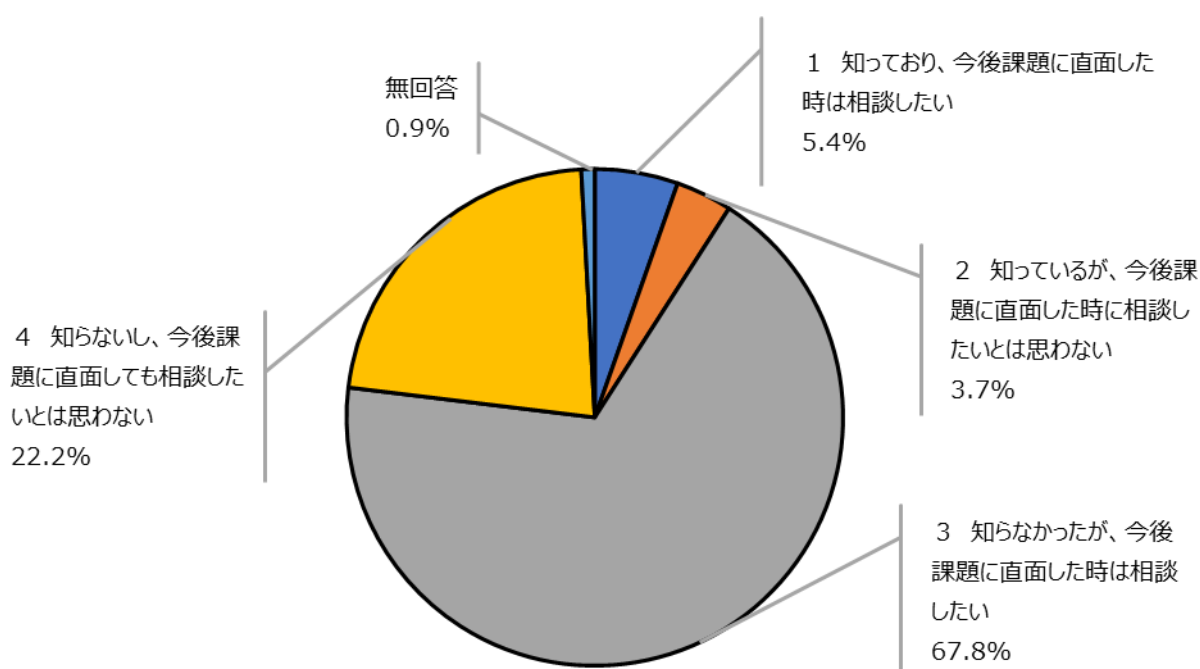
【年齢別傾向】 「知らない」と回答した割合を年齢別にみると、「30 歳未満」が最も多く、94.5%となっている。

【居住年数別傾向】 「知らない」と回答した割合を居住年数別にみると、「1 年以上 5 年未満」が最も多く、90.8%となっている。

【地域別傾向】 「知らない」と回答した割合を地域別にみると、「鶴見北地域」が最も多く、87.5%となっている。

問 10 鶴見区には、地域の身近な相談窓口として専門機関などと連携し、さまざまな生活課題を抱えた人を支援につなげていく「地域福祉コーディネーター」（通称：『つなげ隊』）が各地域（小学校区ごと）にいます。あなたは、『つなげ隊』を知っていますか。また、こうした課題に直面した時に『つなげ隊』に相談しようと思いますか。（1つ選んでください）

選択肢	件数	割合
1 知っており、今後課題に直面した時は相談したい	31	5.4%
2 知っているが、今後課題に直面した時に相談したいとは思わない	21	3.7%
3 知らなかったが、今後課題に直面した時は相談したい	388	67.8%
4 知らないし、今後課題に直面しても相談したいとは思わない	127	22.2%
無回答	5	0.9%
合計	572	100.0%



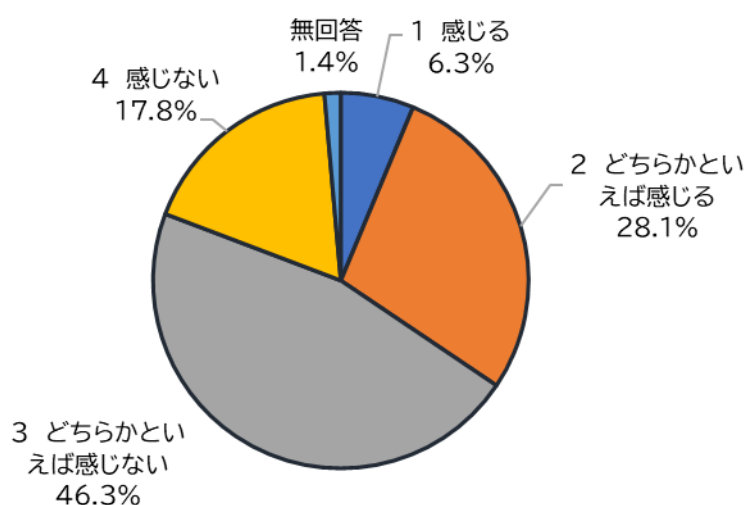
【全体的傾向】 「知らなかったが、今後課題に直面した時は相談したい」と回答した割合が最も多く、67.8%となっている。

【年齢別傾向】 全ての年代で「知らなかったが、今後課題に直面した時は相談したい」と回答した割合が最も多い。

【居住年数別傾向】 全ての年数で「知らなかったが、今後課題に直面した時は相談したい」と回答した割合が最も多い。

問 11 鶴見区では、認知症の方をはじめ高齢者及び障がいのある方とその家族をサポートするため、相談支援体制の充実を図るとともに、認知症に対する正しい理解の普及啓発等に取り組み、「だれでも・いつでも・なんでも言える相談支援体制づくり」を進めています。あなたは、地域で支援を必要としている人に必要な支援が行き届く地域社会になっていると感じますか。（1つ選んでください）

選択肢	件数	割合
1 感じる	36	6.3%
2 どちらかといえば感じる	161	28.1%
3 どちらかといえば感じない	265	46.3%
4 感じない	102	17.8%
無回答	8	1.4%
合計	572	100.0%



【全体的傾向】 「感じる」（6.3%）、「どちらかといえば感じる」（28.1%）を合わせると 34.4%の方が地域で支援を必要としている人に必要な支援が行き届く地域社会になっていると感じている。

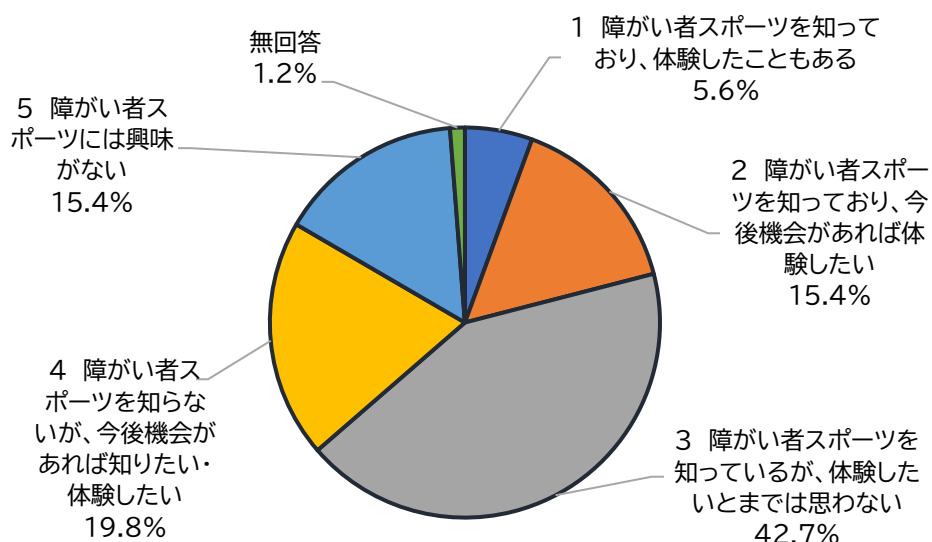
【年齢別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を年齢別にみると、「60 歳代」が最も多く、49.4%となっている。最も少ないのは「40 歳代」で 26.5%となっている。

【居住年数別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を居住年数別にみると、「1 年未満」が最も多く、40.0%となっている。最も少ないのは「1 年以上 5 年未満」で 23.1%となっている。

【地域別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を地域別にみると、「榎本地域」が最も多く、50.9%となっている。

問 12 鶴見区では、障がい者への理解を深めるため、障がい者スポーツの普及啓発に取り組んでいます。あなたは、障がい者スポーツについて関心や経験がありますか。（1つ選んでください）

選択肢	件数	割合
1 障がい者スポーツを知っており、体験したこともある	32	5.6%
2 障がい者スポーツを知っており、今後機会があれば体験したい	88	15.4%
3 障がい者スポーツを知っているが、体験したいとは思わない	244	42.7%
4 障がい者スポーツを知らないが、今後機会があれば知りたい・体験したい	113	19.8%
5 障がい者スポーツには興味がない	88	15.4%
無回答	7	1.2%
合計	572	100.0%



【全体的傾向】 障がい者スポーツを知っている方は 63.7%で、「知らないが機会があれば知りたい・体験したい」という方は 19.8%となっている。

【年齢別傾向】 障がい者スポーツを知っている方は「30 歳未満」が最も多く 70.9%であった。年代が高くなるほど知っている方の割合が低下している。

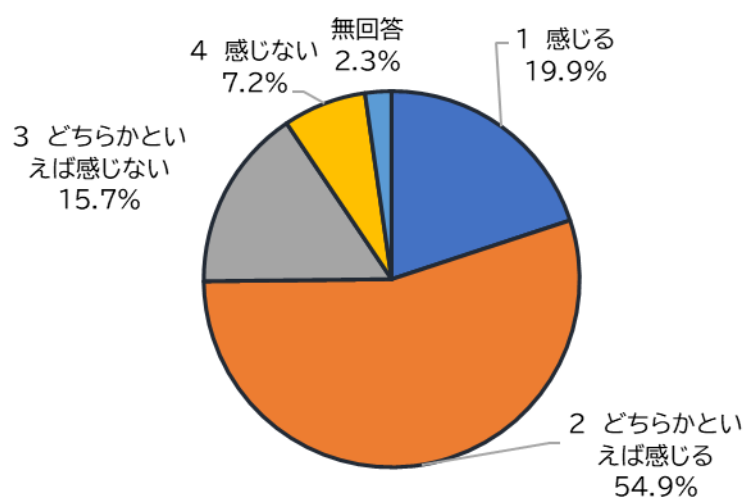
【居住年数別傾向】 障がい者スポーツを知っている方は居住「1 年未満」で最も多く 65.0%であったが、他の年数と大きな違いは見られない。

【地域別傾向】 障がい者スポーツを知っている方が多い地域は「茨田東地域」で 69.7%となっている。

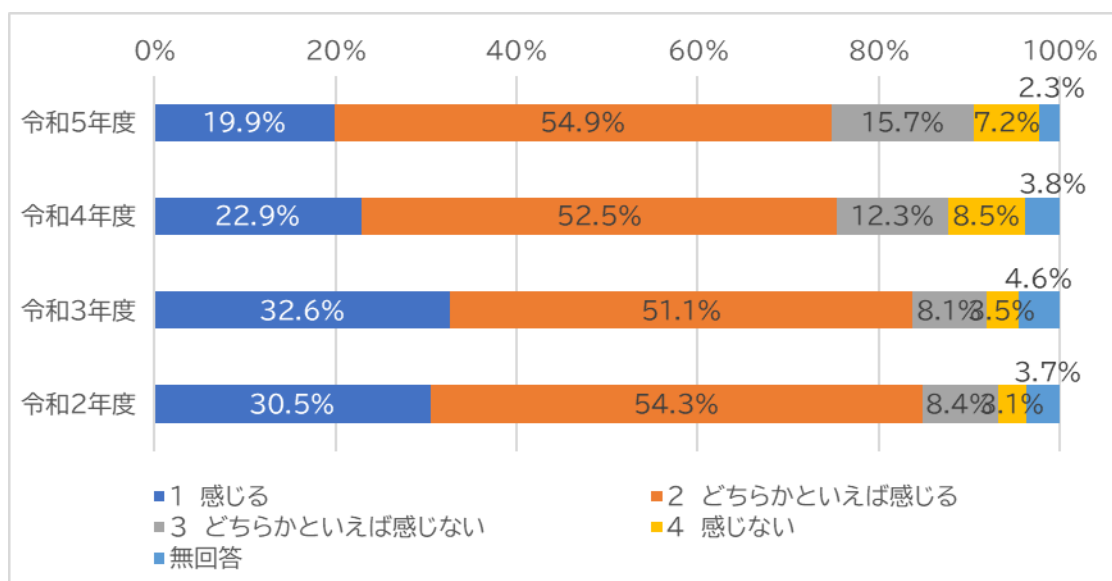
3. 子育てについて

問 13 鶴見区は、子育てしやすいまちと感じていますか。（1つ選んでください）

選択肢	件数	割合
1 感じる	114	19.9%
2 どちらかといえば感じる	314	54.9%
3 どちらかといえば感じない	90	15.7%
4 感じない	41	7.2%
無回答	13	2.3%
合計	572	100.0%



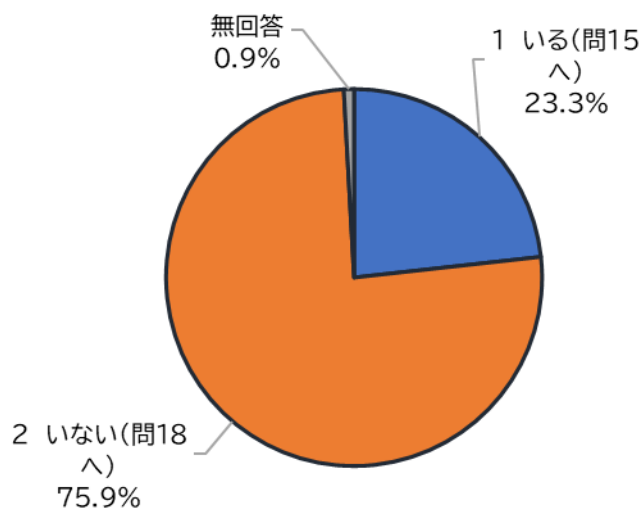
【前回等調査との比較】



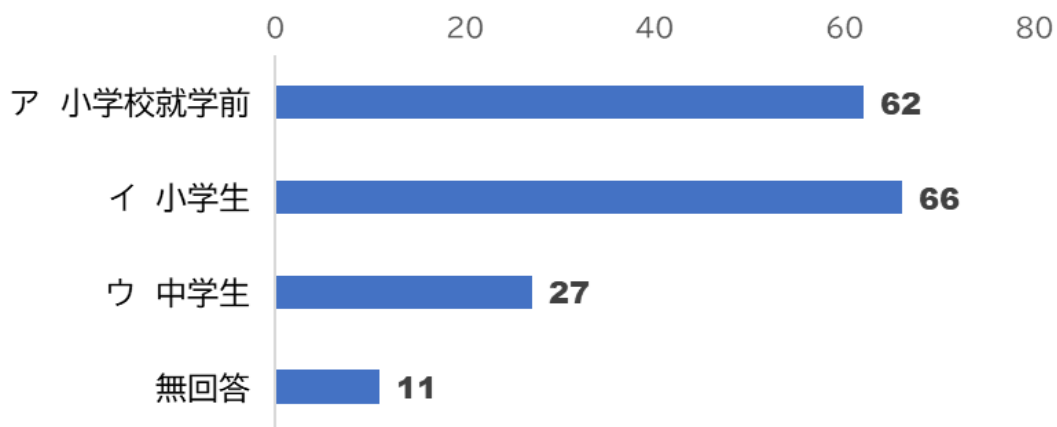
- 【全体的傾向】 「感じる」(19.9%)、「どちらかといえば感じる」(54.9%)を合わせると74.8%の方が子育てしやすいまちと感じている。
- 【年齢別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を年齢別にみると、「30歳未満」が最も多く、80.0%となっている。最も少ないのは「70歳以上」で68.9%となっている。
- 【居住年数別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を居住年数別にみると、「5年以上10年未満」が最も多く、83.3%となっている。最も少ないのは「1年未満」で60.0%となっている。
- 【地域別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を地域別にみると、「茨田西地域」が最も多く、88.6%となっている。

問 14 あなたの世帯に現在、中学生以下のお子さまはいますか。（1つ選んでください）

選択肢	件数	割合
1 いる ⇒ お子さまは、次のどれにあてはまりますか。（いくつでも選んでください） （小学校就学前・小学生・中学生）（⇒問 15 へ）	133	23.3%
2 いない （⇒問 18 へ）	434	75.9%
無回答	5	0.9%
合計	572	100%



選択肢	件数	割合
小学校就学前	62	46.6%
小学生	66	49.6%
中学生	27	20.3%
無回答	11	8.3%
合計	133	100%

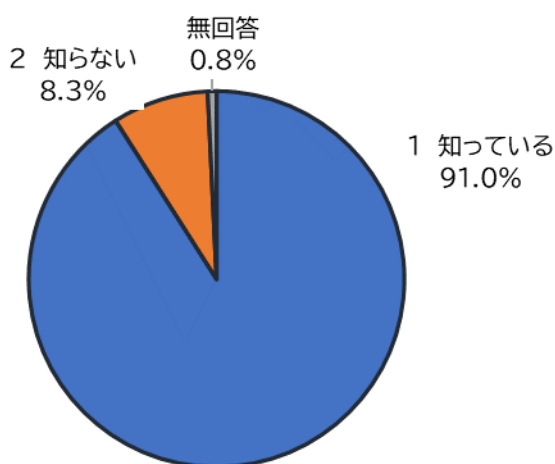


- 【全体的傾向】 中学生以下の子どもがいる世帯は 23.3%となっている。
- 【年齢別傾向】 中学生以下の子どもがいる世帯は「30 歳代」が最も多く 61.2%となっている。
- 【居住年数別傾向】 中学生以下の子どもがいる世帯を居住年数別に見ると、「1 年以上 5 年未満」が最も多く 46.2%となっている。
- 【地域別傾向】 中学生以下の子どもがいる世帯が最も多い地域は焼野地域で 40.9%となっている。

問 15 (問 14 で「1 いる」と回答された方へ)

あなたは、区役所、子育て支援センター、子ども・子育てプラザ、幼稚園、保育所などで子育て相談ができることを知っていますか。(1つ選んでください)

選択肢	件数	割合
1 知っている	121	91.0%
2 知らない	11	8.3%
無回答	1	0.8%
合計	133	100%



【全体的傾向】 「知っている」(91.0%)と、約9割の方が関係施設などで子育て相談ができることを知っている。

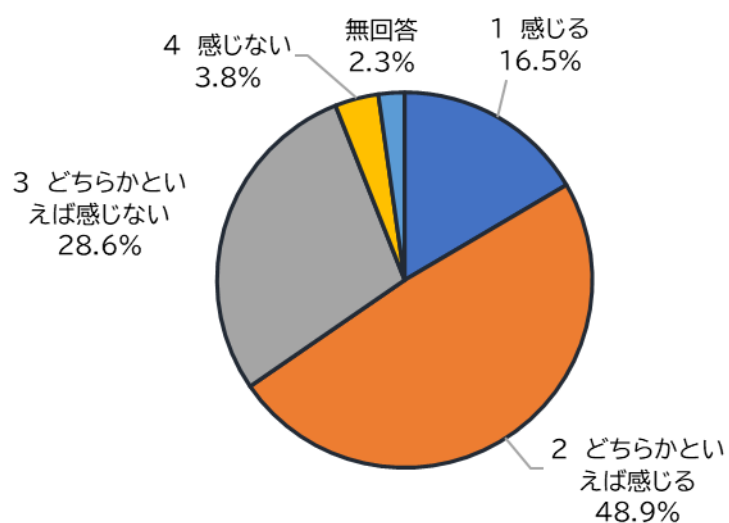
【居住年数別傾向】 「知っている」と回答した割合を居住年数別にみると、「1 年未満」が最も少なく、75.0%となっている。

【地域別傾向】 「知っている」と回答した割合を地域別にみると「今津地域」が最も少なく81.3%となっている。12地域中6地域で「知っている」という回答の割合が100%となっている。

問 16 (問 14 で「1 いる」と回答された方へ)

あなたは、子育てに関する必要な情報を入手できていると感じていますか。(1つ選んでください)

選択肢	件数	割合
1 感じる	22	16.5%
2 どちらかといえば感じる	65	48.9%
3 どちらかといえば感じない	38	28.6%
4 感じない	5	3.8%
無回答	3	2.3%
合計	133	100.0%



【全体的傾向】 「感じる」(16.5%)、「どちらかといえば感じる」(48.9%)を合わせると 65.4%の方が子育てに関する必要な情報を入手できていると感じている。

【年齢別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を年齢別にみると、「30歳未満」では100%となっている。

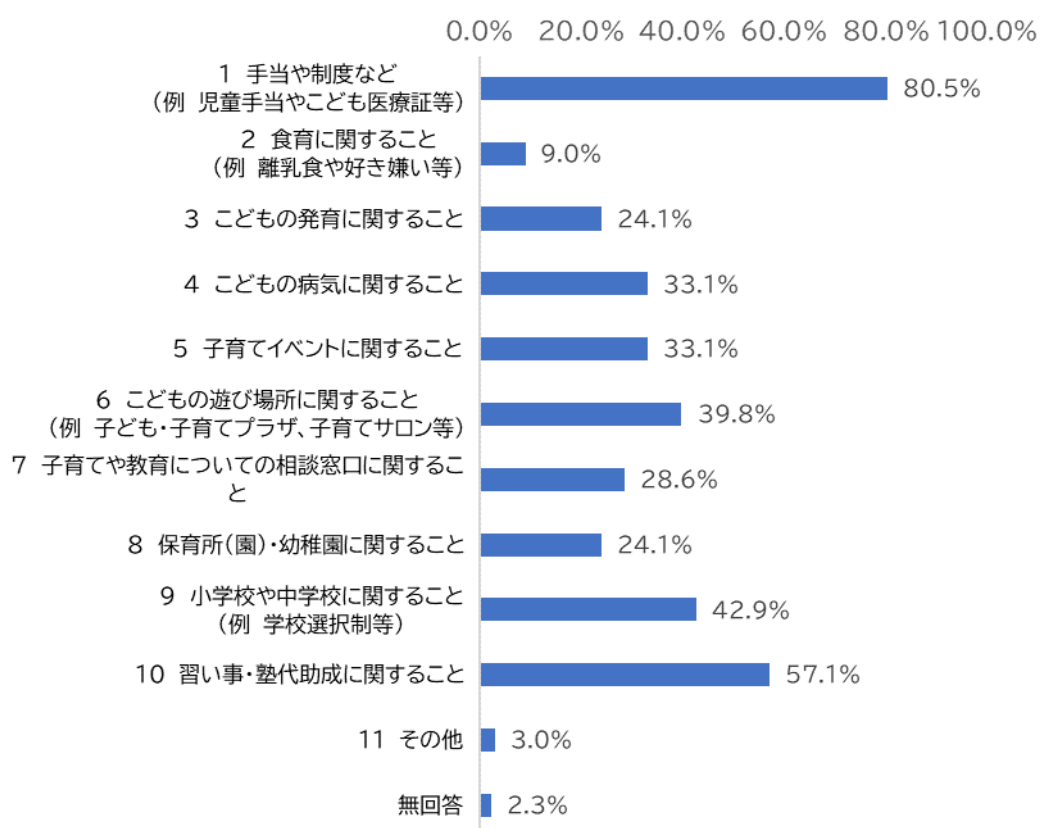
【居住年数別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を居住年数別にみると、「1年以上5年未満」と「10年以上」で 66.7%となっている。

【地域別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を地域別にみると、「横堤地域」が最も多く 92.3%となっている。

問 17 (問 14 で「1 いる」と回答された方へ)

鶴見区では、区広報紙「広報つるみ」や SNS (フェイスブック、X (旧ツイッター)) を活用し、子育てに関するさまざまな情報発信を行っています。あなたが、子育てに関する情報の中で充実してほしいと思うものは何ですか。(いくつでも選んでください)

選択肢	件数	割合
1 手当や制度など (例 児童手当や子ども医療証等)	107	80.5%
2 食育に関すること (例 離乳食や好き嫌い等)	12	9.0%
3 こどもの発育に関すること	32	24.1%
4 こどもの病気に関すること	44	33.1%
5 子育てイベントに関すること	44	33.1%
6 こどもの遊び場所に関すること (例 子ども・子育てプラザ、子育てサロン等)	53	39.8%
7 子育てや教育についての相談窓口に関すること	38	28.6%
8 保育所 (園) ・幼稚園に関すること	32	24.1%
9 小学校や中学校に関すること (例 学校選択制等)	57	42.9%
10 習い事・塾代助成に関すること	76	57.1%
11 その他	4	3.0%
無回答	3	2.3%
合計	133	100.0%



- 【全体的傾向】 「手当や制度など」が 80.5%と最も多く、次いで「習い事・塾代助成に関すること」が 57.1%、「小学校や中学校に関すること」が 42.9%などとなっている。
- 【年齢別傾向】 すべての年代で「手当や制度など」が（同率も含め）最も多い。
- 【居住年数別傾向】 すべての居住年数で「手当や制度など」が最も多い。
- 【地域別傾向】 鶴見地域を除き「手当や制度など」が最も多い。鶴見地域は「習い事・塾代助成に関すること」が最も多い。

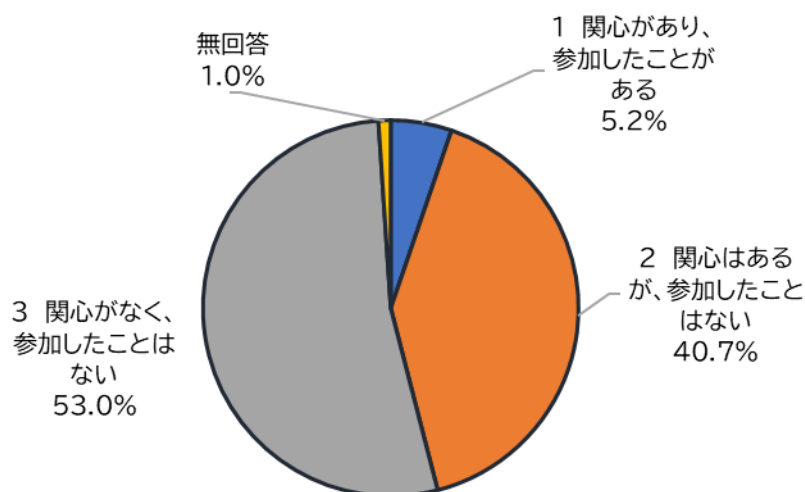
「その他」と回答された方のご意見（抜粋）

- ・子どもの買い物情報
- ・子どもが遊べる場所（公園）
- ・本当に困ったことになった時の相談窓口（親が病気やケガをした時など子どもをどうしたらよいか）

4. まなびを通じたつながりづくりについて

問 18 鶴見区では、「人権啓発推進セミナー」「ヒューマンシアター」「校下別人権学習会」「人権啓発イベント」「人材育成講座」「街頭啓発」などの人権教育・啓発の取組みを行っています。
あなたは、これらの取組みに参加したり、地域で人権学習の開催や啓発活動に関わったことがありますか。
(1 つ選んでください)

選択肢	件数	割合
1 関心があり、参加したことがある	30	5.2%
2 関心はあるが、参加したことはない	233	40.7%
3 関心がなく、参加したことはない	303	53.0%
無回答	6	1.0%
合計	572	100.0%



【全体的傾向】 「関心があり、参加したことがある」（5.2%）、「関心はあるが、参加したことはない」（40.7%）を合わせると 45.9%の方が人権教育・啓発等の取組みに関心がある。

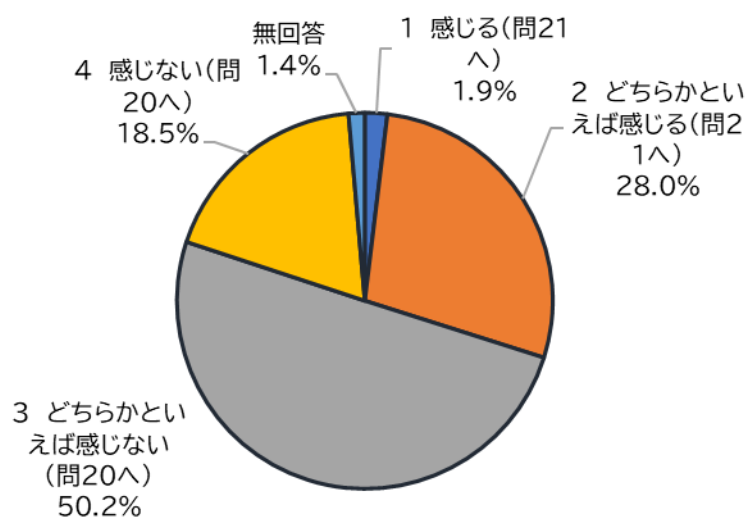
【年齢別傾向】 「30 歳代未満」では「関心がなく、参加したことはない」と回答した割合が最も多く 67.3%となっており、「50 歳代」では「関心はあるが、参加したことはない」と回答した割合が最も多く 47.6%となっている。

【居住年数別傾向】 全ての居住年数で「関心がなく、参加したことはない」と回答した割合が最も多い。（「5 年以上 10 年未満」は「関心はあるが、参加したことはない」と同率）

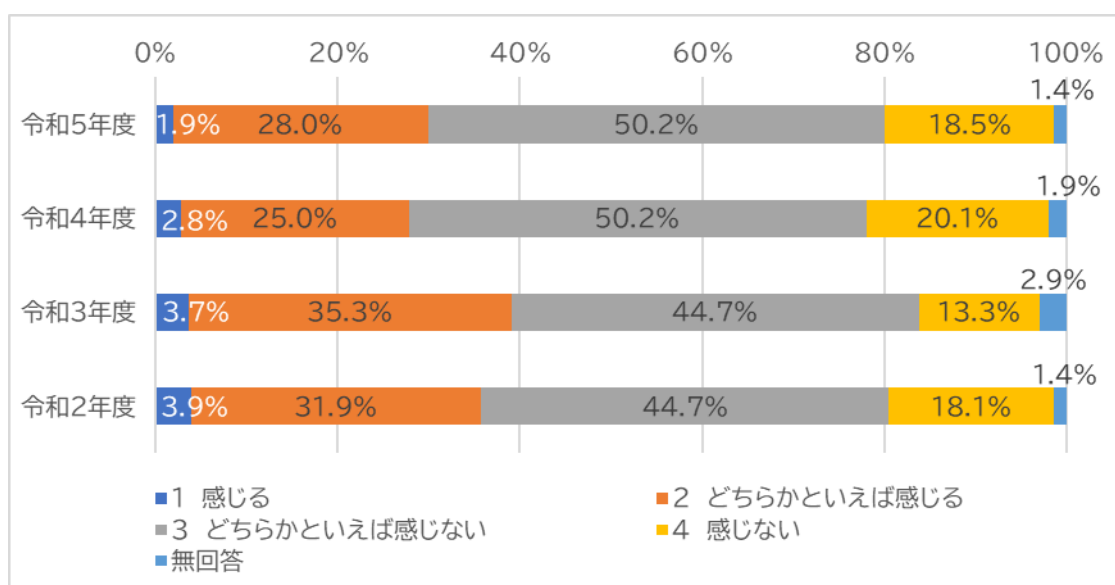
【地域別傾向】 「茨田西地域」では「関心はあるが、参加したことはない」と回答した割合が最も多く 54.5%となっており、その他の地域では「関心がなく、参加したことはない」と回答した割合が最も多い。

問 19 あなたは、鶴見区で実施している取組みを通して、「一人ひとりが互いに認め合い、受け容れ、ともに生きる」人権尊重のまちづくりが進んでいると感じますか。（1つ選んでください）

選択肢	件数	割合
1 感じる	11	1.9%
2 どちらかといえば感じる	160	28.0%
3 どちらかといえば感じない	287	50.2%
4 感じない	106	18.5%
無回答	8	1.4%
合計	572	100.0%



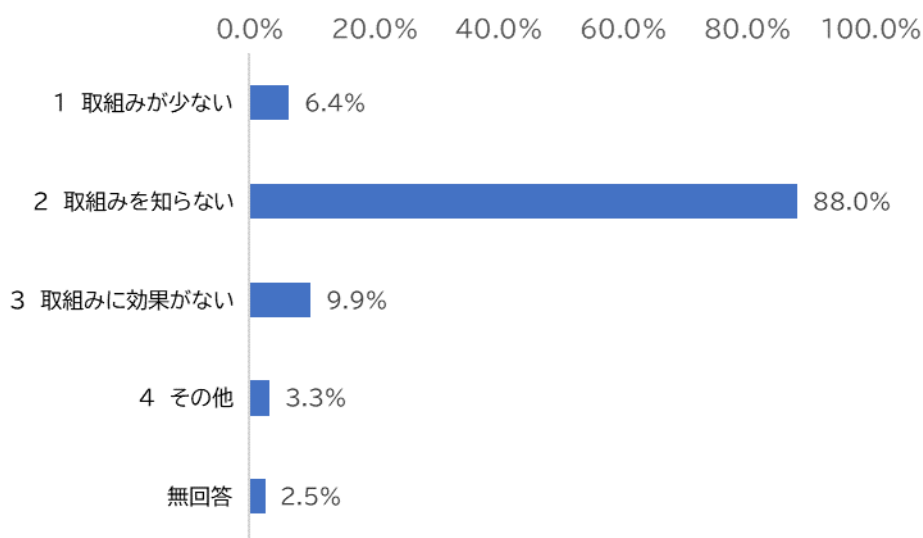
【前回等調査との比較】



- 【全体的傾向】 「感じる」(1.9%)、「どちらかといえば感じる」(28.0%)を合わせると 29.9%の方が人権尊重のまちづくりが進んでいると感じている。
- 【年齢別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を年齢別にみると、若い年代ほど多く、「30歳未満」で 34.5%、また「70歳以上」が最も少なく 27.2%となっている。
- 【居住年数別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を居住年数別にみると、「1年以上5年未満」が最も多く、36.9%となっている。最も少ないのは「1年未満」で 25.0%となっている。
- 【地域別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を地域別にみると、「焼野地域」が最も多く、45.5%となっている。

問 20 (問 19 で「3 どちらかといえば感じない」「4 感じない」と回答された方へ)
 人権尊重のまちづくりが進んでいると感じない理由は何ですか。
 (いくつでも選んでください)

選択肢	件数	割合
1 取組みが少ない	25	6.4%
2 取組みを知らない	346	88.0%
3 取組みに効果がない	39	9.9%
4 その他	13	3.3%
無回答	10	2.5%
合計	393	100.0%



【全体的傾向】 「取組みを知らない」と回答した割合が最も多く、88.0%となっている。

【年齢別傾向】 すべての年代で「取組みを知らない」と回答した割合が最も多い。

【居住年数別傾向】 すべての居住年数で「取組みを知らない」と回答した割合が最も多い。

【地域別傾向】 すべての地域で「取組みを知らない」と回答した割合が最も多い。

「その他」と回答された方のご意見（抜粋）

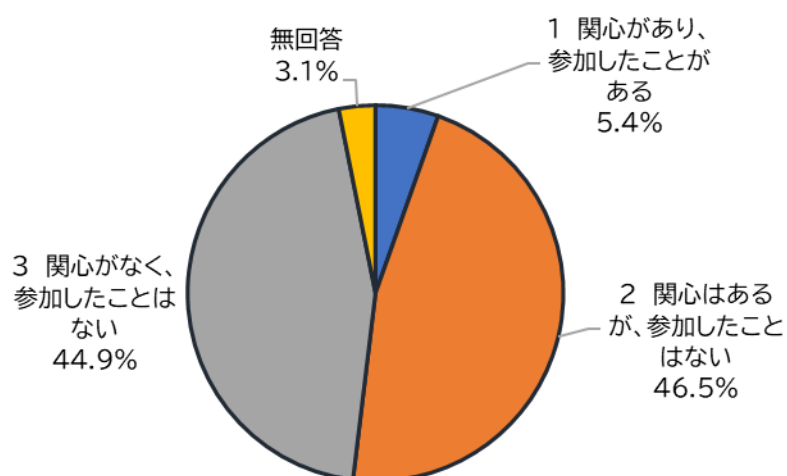
- ・取り組みを知る術も少ない
- ・若い方達と老人達のふれあい繋がりが少ない
- ・独身だと区役所へ行かない限りその旨の告知ポスター等を目にしないので
- ・仕事でほとんど1日家にいないのでわからない。

問 21 鶴見区では、「生涯学習ルーム」「生涯学習ルームフェスティバル」「生涯学習セミナー」「おもてなし茶会」「生涯学習一日体験 学び舎つるみ」「家庭教育支援講座」「はぐくみネット」などの生涯学習の取組みを行っています。

あなたは、これらの取組みや、地域における子どもの健全育成のボランティアなどに参加したことがありますか。

(1 つ選んでください)

選択肢	件数	割合
1 関心があり、参加したことがある	31	5.4%
2 関心はあるが、参加したことはない	266	46.5%
3 関心がなく、参加したことはない	257	44.9%
無回答	18	3.1%
合計	572	100.0%



【全体的傾向】 「関心があり、参加したことがある」(5.4%)、「関心はあるが、参加したことはない」(46.5%)を合わせると51.9%の方が生涯学習等の取組みに関心がある。

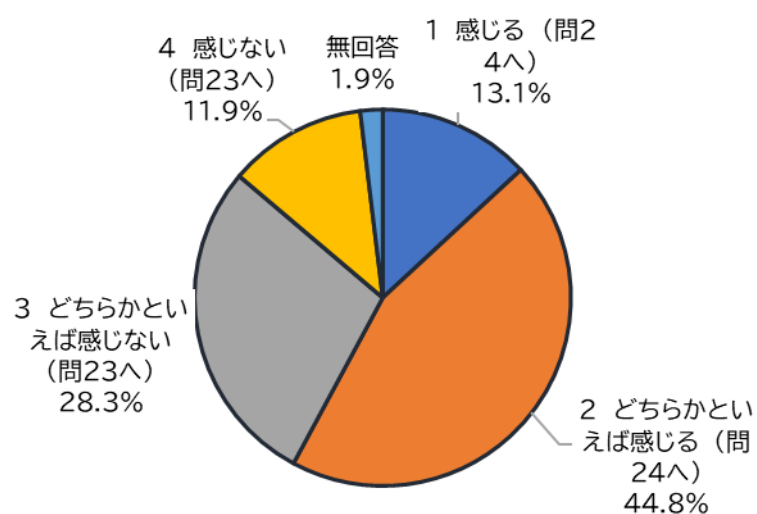
【年齢別傾向】 「30 歳代未満」では「関心がなく、参加したことはない」と回答した割合が最も多く56.4%となっており、「50 歳代」、「60 歳代」及び「70 歳以上」では「関心はあるが、参加したことはない」と回答した割合が最も多い。

【居住年数別傾向】 「1 年未満」では「関心がなく、参加したことはない」と回答した割合が最も多く55.0%となっており、その他の居住年数では「関心はあるが、参加したことはない」と回答した割合が最も多い。

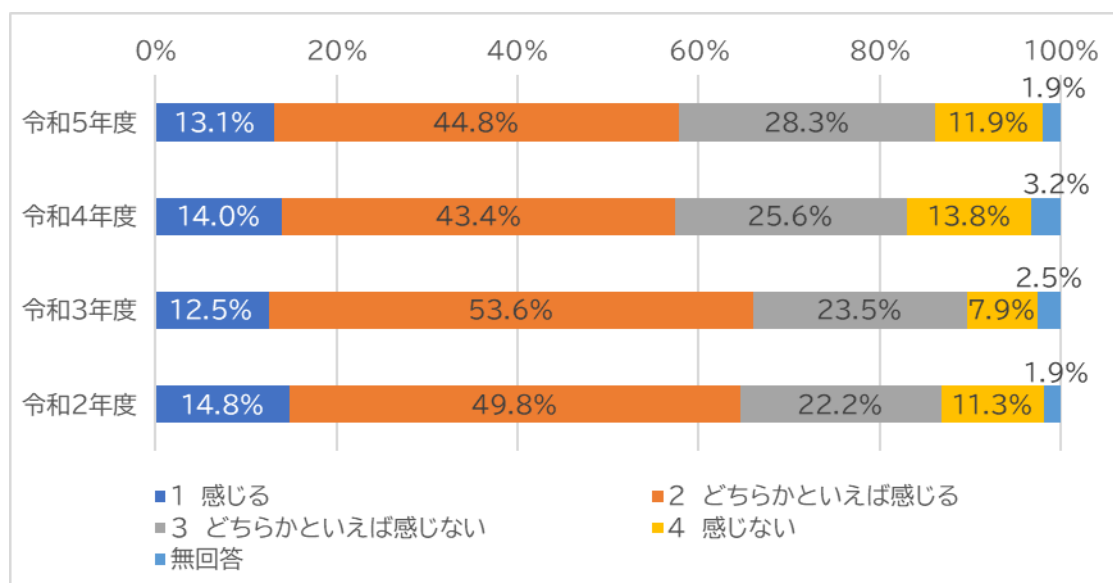
【地域別傾向】 「関心があり、参加したことがある」又は「関心はあるが、参加したことはない」と回答した割合が最も多い地域は「茨田西地域」で75.0%となっている。

問 22 あなたは、生涯学習の取組みや地域ボランティア活動などによるまなびを通して、人との関わりやつながりができると感じますか。（1つ選んでください）

選択肢	件数	割合
1 感じる	75	13.1%
2 どちらかといえば感じる	256	44.8%
3 どちらかといえば感じない	162	28.3%
4 感じない	68	11.9%
無回答	11	1.9%
合計	572	100.0%



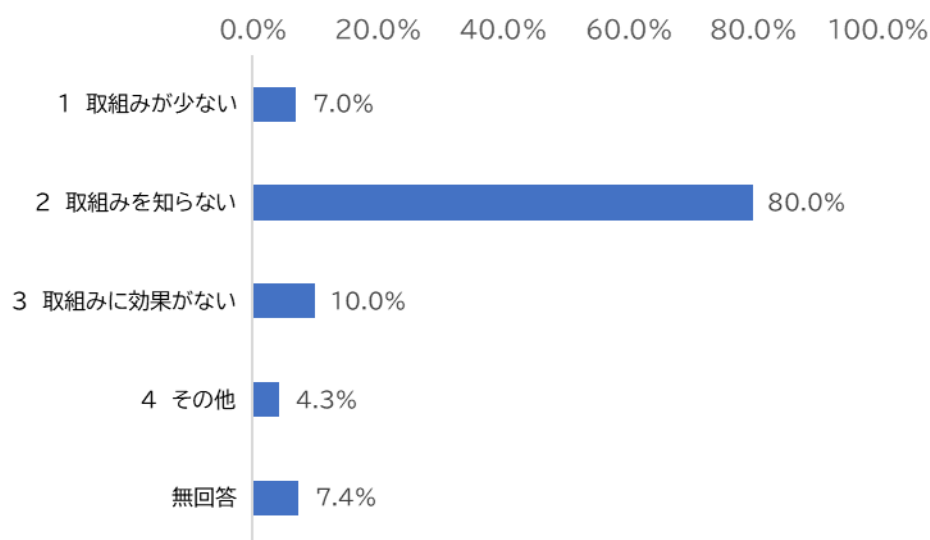
【前回等調査との比較】



- 【全体的傾向】 「感じる」(13.1%)、「どちらかといえば感じる」(44.8%)を合わせると 57.9%の方が生涯学習の取組みなどによるまなびを通して、人との関わりやつながりができると感じている。
- 【年齢別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を年齢別にみると、「30 歳未満」が最も多く、69.1%となっている。
- 【居住年数別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を居住年数別にみると、「5 年以上 10 年未満」が最も多く、66.7%となっている。
- 【地域別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を地域別にみると、「茨田西地域」が最も多く、72.7%となっている。

問 23 (問 22 で「3 どちらかといえば感じない」「4 感じない」と回答された方へ)
まなびを通して人との関わりやつながりができると感じない理由は何ですか。
(いくつでも選んでください)

選択肢	件数	割合
1 取組みが少ない	16	7.0%
2 取組みを知らない	184	80.0%
3 取組みに効果がない	23	10.0%
4 その他	10	4.3%
無回答	17	7.4%
合計	230	100.0%



【全体的傾向】 「取組みを知らない」と回答した割合が最も多く、80.0%となっている。

【年齢別傾向】 すべての年代で「取組みを知らない」と回答した割合が最も多い。

【居住年数別傾向】 すべての居住年数で「取組みを知らない」と回答した割合が最も多い。

「その他」と回答された方のご意見（抜粋）

- ・若者、高齢者ともに個人差が大きく、まとまっていない。
- ・日々忙しく、子育てもあり、ボランティアに参加する時間がない為
- ・強制されても困る。
- ・日々の生活で精一杯でそこまで気を回せない
- ・グループ行動が負担。

5. 鶴見区全般について

問 24 今後、だれもが安心して暮らせるまちづくりを進めるにあたり、取り組んだらよいと思うアイデア等がありましたら、ご記入ください。

【広報に関すること】

- 困った時になんでも相談できる総合窓口があれば助かります。
- テレビやネットニュースを「見ているけど読んでいない」人が結構いるので、支援が届かないことは多いと思います。
- LINE 等、インターネット広報を活用して欲しい。
- 困った時にどこにどのように相談したら良いかを知らない人もいますので、もっと知られるように。

【子育てに関すること】

- 子供たちへの声掛けボランティア、公園利用者を取り込んだペットに優しい町づくり。
- 登校拒否、学校に馴染めず授業についていけない子どもの為にフリースクールの設置を望む。
- 子供が多い鶴見区なので、もう少し遊び場を広くしてあげた方がいいと思う。
- 働く＆専業主婦が安心して過ごせる街づくりサポートをしてくれると嬉しいです。
- 小学生以下向けの施設や遊び場、公園を増やして欲しい。
- ボール遊びなどのできる場所を増やしてほしい。
- 就学前の子供に関するイベントをもっと開催して欲しい。

【高齢者に関すること】

- 地域包括支援センターの存在等をもっと教えてほしい。
- 地域活動の従事者も高齢化し、活動に支障が出ている。若い夫婦の入居者を増やしてほしい。

【防犯に関すること】

- 「声がけ、見守り、支え合い」が、もっと気軽にできるようになったらいいと思います。
- 公園や、見通しの悪い場所や暗い道などをなくしてほしい。
- 街への防犯カメラ増設。
- 監視カメラを増やしたり、夜道を明るくしたりして犯罪を起こしにくい環境にしてほしい。
- 街灯がもう少し多いとありがたいです。

【災害に関すること】

- 大災害時の自助の必要性、大切さの啓発

【交通マナーに関すること】

- 歩道が狭い。人の数と歩道の幅が合っていない。
- 自動車の歩行者への配慮がなく、クラクションを鳴らしすぎ。
- 歩きたばこが多いです。
- 道路を安心して走行し、歩道を車いすの人も安心して歩けるように。
- 人口が増えたため、歩道が狭く、歩きにくいし、自転車も通りにくい、植木よりも広い歩道がいいです（歩道に植木など

あり狭くなっています）歩道がない所もある。安全な歩道を作って欲しいです。

- 標識やポスターで自転車のマナーを啓発してほしい。
- 歩きタバコが多い。

【鶴見緑地に関すること】

- 鶴見緑地の車両（自転車等）の乗り入れの規制及び自転車専用コースの設置。
- 緑地を利用した区民参加型のイベントをもっと増やす
- 鶴見緑地を生かしたスポーツイベントなどの実施
- 鶴見緑地があるので花や木に関する取り組みを進め、それをメインに鶴見区を繁栄させていく事を進めて下さい。
- 鶴見緑地を保全して末永く愛される場所にしてほしい。

【その他】

- フリーマーケットを無料で開催してもらえたら助かります。
- 電柱の地中化の為、抜いた木を戻してほしい。
- 子供、子育て世帯、高齢者以外への生活学習（イベント）の機会を作してほしいです。
- 私の住む地域は鶴見の東で周りは住宅が多くスーパーもなく、毎日とても不便を感じております。
- 昔から住んでいる人たちと私たちのような違う地域から移り住み、なおかつ子どももいない人間でも簡単に地域と関わることが出来る場があると嬉しいです。
- 生涯学習のメニュー増加。
- 大勢の人が参加する祭りなどの催し物をもっと力を入れてもよいのではないかなと思います。子供たちが安心して暮らせるのも大事ですが、楽しんで暮らせる街づくりがしたいと思います。
- 地域ボランティア活動やコミュニティイベントの積極的な推進が必要ではないかと思います。

第1回 鶴見区民アンケート

- 質問ごとに選択肢から該当する**答えを選び、数字に○印**を付けてください。
- 「その他」() については、**かっこ内に具体的な内容を記入**してください。

貴重なお時間を頂戴することとなりますが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

1. 鶴見区の魅力などについて

問1 鶴見区では、区の歴史や魅力の発見・発信や賑わいの創出を図るため、幅広い世代のみなさまに区への愛着を深めてもらえるよう事業に取り組んでいます。

あなたは、次の「イベント・事業の例」に掲げる取組み全般について、魅力ある取組みだと感じますか。（1つ選んでください）

- | | |
|----------------|---------------|
| 1 感じる | 2 どちらかといえば感じる |
| 3 どちらかといえば感じない | 4 感じない |

イベント・事業の例



令和5年度「こどもつる魅力検定」
令和5年7月～8月



第7回「つる魅力検定」
令和5年10月～12月



鶴見区マスコットキャラクター「つるりっぷ」による広報（通年）

問2 鶴見区ではSDGs(※)の周知・広報に取り組んでいます。家庭でできる身近なSDGsもありますが、あなたは、日頃から意識してSDGsに取り組んでいますか。

(1つ選んでください)

- 1 意識して取り組んでいる (⇒問4へ)
- 2 意識して取り組んでいない (⇒問3へ)



※SDGs とは

未来のために地球上のさまざまな問題の解決をめざす、世界共通の17の目標のことで、日本語では「持続可能な開発目標」と呼ばれています。2030年までに世界中の国がひとつになって達成することをめざしています。

【SDGsに関連する取組例】

- ・ ごみの分別をきちんとする
- ・ 買い替える際には、省エネ型の機種や電球を選択する
- ・ 水や電気の無駄使いを減らす
- ・ 冷蔵庫を確認し、食品ロスを減らす努力をする
- ・ 油分を拭き取ってから食器を洗う
- ・ なるべく地元産の食材を買う（地産地消） など

問3は、問2で「2 意識して取り組んでいない」と回答された方のみお答えください。

問3 SDGsに意識して取り組んでいない理由は何ですか。(1つ選んでください)

- 1 SDGsを知らない
- 2 SDGsは聞いたことあるが、何から取り組めばよいか分からない
- 3 SDGsは知っているが、日本にはあまり関係がない
- 4 その他 ()

問4 「2025年日本国際博覧会（以下「大阪・関西万博」という。）」が、大阪市の夢洲で令和7年4月13日～10月13日まで開催されます。

あなたは、「大阪・関西万博」に関心がありますか。(1つ選んでください)

- 1 関心がある (⇒問6へ)
- 2 関心がない (⇒問5へ)

問5は、問4で「2 関心がない」と回答された方のみお答えください。

問5 「大阪・関西万博」に関心がない理由は何ですか。(1つ選んでください)

- 1 「万博」自体を知らない
- 2 大阪で開催されることを知らない
- 3 まだパビリオン等の詳細が未定だから
- 4 万博のテーマが分からない
- 5 その他 ()

問 6 あなたは、鶴見区が花や緑あふれるまちと感じますか。（1つ選んでください）

- | | |
|----------------|---------------|
| 1 感じる | 2 どちらかといえば感じる |
| 3 どちらかといえば感じない | 4 感じない |



2. 地域福祉の推進について

問 7 鶴見区では、「気にかける・つながる・支え合う地域づくり」を進めています。

あなたは、災害時に限らず日常生活の中で「お元気ですか？」や「何かお困りですか？」など、住民同士の「声かけ」「見守り」「支え合い」が行われていると感じますか。（1つ選んでください）

- | | |
|----------------|---------------|
| 1 感じる | 2 どちらかといえば感じる |
| 3 どちらかといえば感じない | 4 感じない |

問 8 あなたは、現在ボランティア活動をしていますか。または、ボランティア活動をしてみたいと思っていますか。（1つ選んでください）

- | | |
|-----------|-------------|
| 1 現在している | 2 活動したことがある |
| 3 今後してみたい | 4 興味がない |



問 9 鶴見区では、地域での支え合い、助け合いの意識づくりと活動への参加促進に向けて、公的な福祉サービスでは対象外とされている、外出時の付き添いなど日常生活のちょっとした困り事を地域住民同士の支え合いで補う、有償ボランティア制度「**まちの支えあい活動**」（通称:『**あいまち**』）を実施しています。

あなたは、『あいまち』を知っていますか。（1つ選んでください）

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

問 10 鶴見区には、地域の身近な相談窓口として専門機関などと連携し、さまざまな生活課題を抱えた人を支援につなげていく「**地域福祉コーディネーター**」（通称:『**つなげ隊**』）が各地域（小学校区ごと）にいます。あなたは、『つなげ隊』を知っていますか。また、こうした課題に直面した時に『つなげ隊』に相談しようと思いますか。（1つ選んでください）

- | |
|---------------------------------|
| 1 知っており、今後課題に直面した時は相談したい |
| 2 知っているが、今後課題に直面した時に相談したいとは思わない |
| 3 知らなかったが、今後課題に直面した時は相談したい |
| 4 知らないし、今後課題に直面しても相談したいとは思わない |

問 11 鶴見区では、認知症の方をはじめ高齢者及び障がいのある方とその家族をサポートするため、相談支援体制の充実を図るとともに、認知症に対する正しい理解の普及啓発等に取り組み、「だれでも・いつでも・なんでも言える相談支援体制づくり」を進めています。

あなたは、地域で支援を必要としている人に必要な支援が行き届く地域社会になっていると感じますか。（1つ選んでください）

- | | |
|----------------|---------------|
| 1 感じる | 2 どちらかといえば感じる |
| 3 どちらかといえば感じない | 4 感じない |

問 12 鶴見区では、障がい者への理解を深めるため、障がい者スポーツの普及啓発に取り組んでいます。

あなたは、障がい者スポーツについて関心や経験がありますか。（1つ選んでください）

- 1 障がい者スポーツを知っており、体験したこともある
- 2 障がい者スポーツを知っており、今後機会があれば体験したい
- 3 障がい者スポーツを知っているが、体験したいとまでは思わない
- 4 障がい者スポーツを知らないが、今後機会があれば知りたい・体験したい
- 5 障がい者スポーツには興味がない

3. 子育てについて

問 13 あなたは、鶴見区は子育てしやすいまちだと感じていますか。（1つ選んでください）

- 1 感じる
- 2 どちらかといえば感じる
- 3 どちらかといえば感じない
- 4 感じない



問 14 あなたの世帯に現在、中学生以下のお子さまはいますか。

（1つ選んでください。「1 いる」と回答された方は、ア～ウからも選んでください。）

1 いる ⇒ **お子さまは、次のどれにあてはまりますか。（いくつでも選んでください）**

- ア 小学校就学前
- イ 小学生
- ウ 中学生

} **（⇒問 15 へ）**

2 いない **（⇒問 18 へ）**

問 15 は、問 14 で「1 いる」と回答された方のみお答えください。

問 15 あなたは、区役所、子育て支援センター、子ども・子育てプラザ、幼稚園、保育所などで子育て相談ができることを知っていますか。（1つ選んでください）

- 1 知っている
2 知らない

問 16 は、問 14 で「1 いる」と回答された方のみお答えください。

問 16 あなたは、子育てに関する必要な情報を入手できていると感じていますか。
(1つ選んでください)

- 1 感じる
- 2 どちらかといえば感じる
- 3 どちらかといえば感じない
- 4 感じない



問 17 は、問 14 で「1 いる」と回答された方のみお答えください。

問 17 鶴見区では、区広報紙「広報つるみ」や SNS（フェイスブック、X(旧ツイッター)）を活用し、子育てに関するさまざまな情報発信を行っています。

あなたが、子育てに関する情報の中で充実してほしいと思うものは何ですか。

(いつでも選んでください)

- 1 手当や制度など（例 児童手当やこども医療証等）
- 2 食育に関すること（例 離乳食や好き嫌い等）
- 3 こどもの発育に関すること
- 4 こどもの病気に関すること
- 5 子育てイベントに関すること
- 6 こどもの遊び場所に関すること（例 子ども・子育てプラザ、子育てサロン等）
- 7 子育てや教育についての相談窓口に関すること
- 8 保育所（園）・幼稚園に関すること
- 9 小学校や中学校に関すること（例 学校選択制等）
- 10 習い事・塾代助成に関すること
- 11 その他（ ）



4. まなびを通じたつながりづくりについて

問 18 鶴見区では、「人権啓発推進セミナー」「ヒューマンシアター」「校下別人権学習会」「人権啓発イベント」「人材育成講座」「街頭啓発」などの**人権教育・啓発の取組み**を行っています。
あなたは、これらの取組みに参加したり、地域で人権学習の開催や啓発活動に関わったことがありますか。（1 つ選んでください）

- 1 関心があり、参加したことがある
- 2 関心はあるが、参加したことはない
- 3 関心がなく、参加したことはない

問 19 あなたは、鶴見区で実施している取組みを通して、「一人ひとりが互いに認め合い、受け容れ、ともに生きる」人権尊重のまちづくりが進んでいると感じますか。

（1 つ選んでください）

- | | | |
|----------------|---|-----------|
| 1 感じる | } | (⇒問 21 へ) |
| 2 どちらかといえば感じる | | |
| 3 どちらかといえば感じない | } | (⇒問 20 へ) |
| 4 感じない | | |



問 20 は、問 19 で「3 どちらかといえば感じない」「4 感じない」と回答された方のみお答えください。

問 20 人権尊重のまちづくりが進んでいると感じない理由は何ですか。

（いくつでも選んでください）

- 1 取組みが少ない
- 2 取組みを知らない
- 3 取組みに効果がない
- 4 その他（)

問 21 鶴見区では、「生涯学習ルーム」「生涯学習ルームフェスティバル」「生涯学習セミナー」「おもてなし茶会」「生涯学習一日体験 学び舎つるみ」「家庭教育支援講座」「はぐみネット」などの**生涯学習の取組み**を行っています。

あなたは、これらの取り組みや、地域における子どもの健全育成のボランティアなどに参加したことがありますか。（1つ選んでください）

- 1 関心があり、参加したことがある
- 2 関心はあるが、参加したことはない
- 3 関心がなく、参加したことはない

問 22 あなたは、生涯学習の取り組みや地域ボランティア活動などによるまなびを通して、人との関わりやつながりができると感じますか。（1つ選んでください）

- 1 感じる } (⇒問 24 へ)
2 どちらかといえば感じる
3 どちらかといえば感じない } (⇒問 23 へ)
4 感じない



問 23 は、問 22 で「3 どちらかといえば感じない」「4 感じない」と回答された方のみお答えください。

問 23 まなびを通して人との関わりやつながりができると感じない理由は何ですか。
(いくつでも選んでください)

- 1 取組みが少ない 2 取組みを知らない
3 取組みに効果がない 4 その他（ ）

5. 鶴見区全般について

問 24 今後、だれもが安心して暮らせるまちづくりを進めるにあたり、**取り組んだらよいと思うアイデア等**がありましたら、ご記入ください。

[illegible]

6. あなたご自身について

問 25 あなたの性別をお答えください。(1つ選んでください)

- 1 男性 2 女性 3 その他

問 26 あなたの年齢をお答えください。(1つ選んでください)

- 1 30 歳未満 2 30～39 歳 3 40～49 歳
4 50～59 歳 5 60～69 歳 6 70 歳以上

問 27 あなたのお住まいの地域をお答えください。(1つ選んでください)

- 1 緑地域 (みどり小学校区、新森小路小学校区)
2 鶴見北地域 (鶴見小学校区) 3 鶴見地域 (鶴見南小学校区)
4 榎本地域 (榎本小学校区) 5 今津地域 (今津小学校区)
6 茨田南地域 (茨田南小学校区) 7 茨田地域 (茨田小学校区)
8 茨田東地域 (茨田東小学校区) 9 茨田北地域 (茨田北小学校区)
10 焼野地域 (焼野小学校区) 11 茨田西地域 (茨田西小学校区)
12 横堤地域 (横堤小学校区) 13 わからない

問 28 あなたは、鶴見区にお住まいになって何年ですか。(1つ選んでください)

- 1 1 年未満 2 1 年以上 5 年未満
3 5 年以上 10 年未満 4 10 年以上

ご協力ありがとうございました



お手数をおかけしますが、**令和 5 年 12 月 14 日 (木)** までに、

この用紙を同封の返送用封筒に入れ、切手を貼らずに投函してください。

